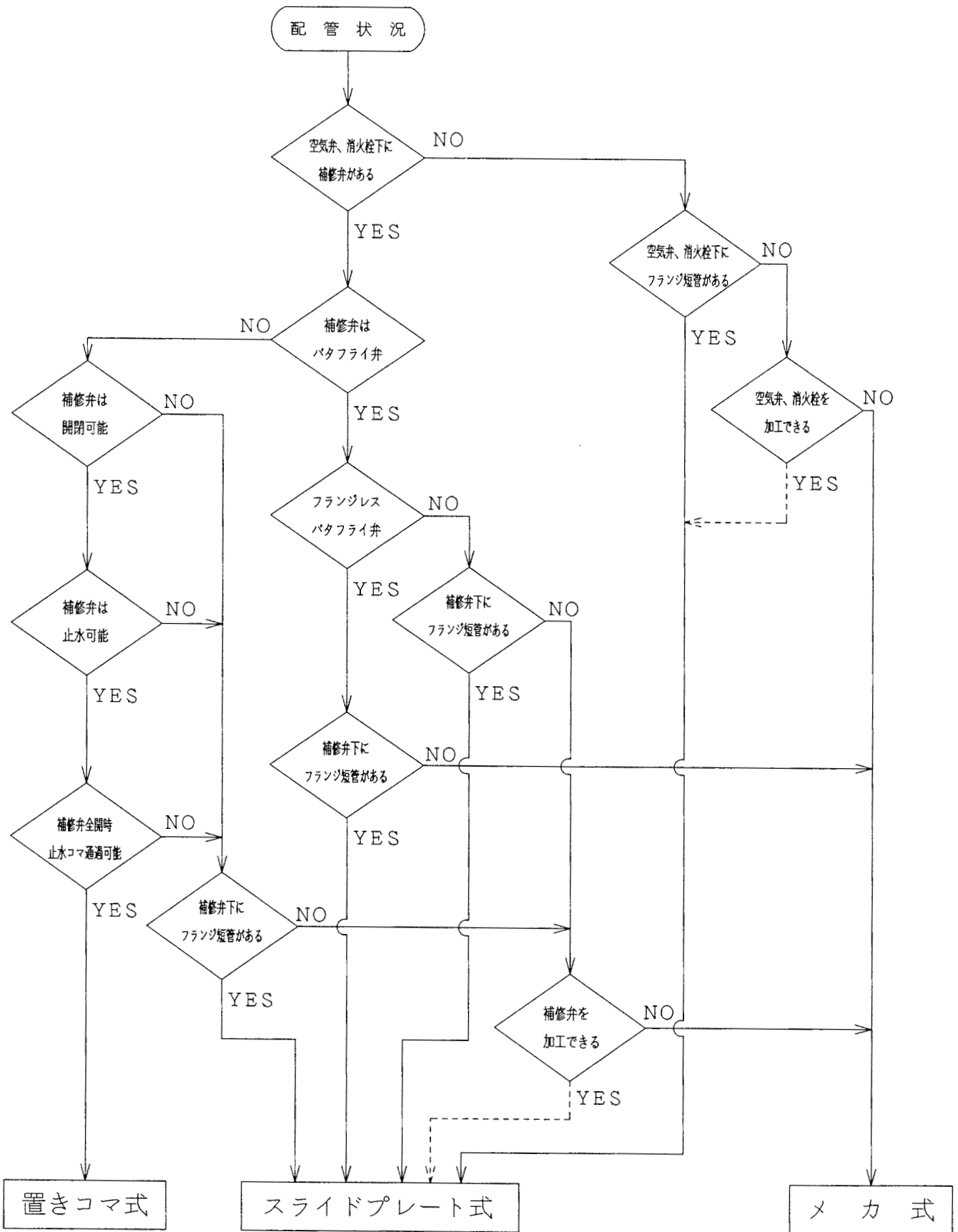


「不断水補修弁交換工法 フロー図」



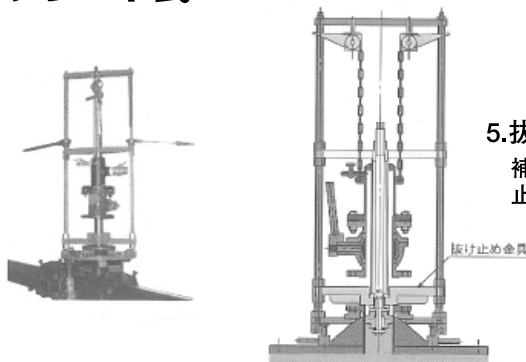
注：現場状況によっては、上記フロー図と異なる場合があります。

不断水補修弁交換工法 スライドプレート式

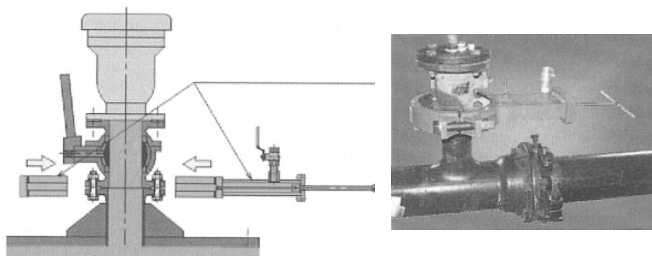
■ 特長

1. 止水不能な補修弁を不断水で交換できます。
2. 補修弁が止水不能でも交換できます。
3. 施工スペースは小さく済み経済的です。
4. 施工時間も短時間で済みます。

工事概略図 ※補修弁が止水不能の場合



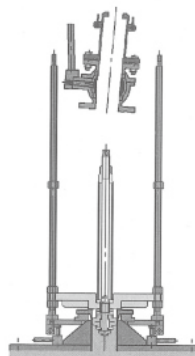
5. 抜け止め金具取り付け
補修弁を持ち上げ、抜け止め金具を取り付けます。



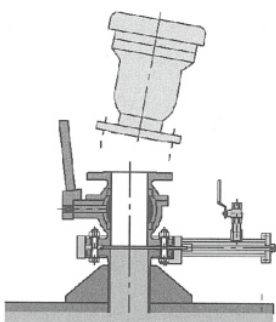
6. 補修弁取り外し

1. スライドプレート式作業弁の取り付け

補修弁下側のボルト・ナットを作業用ボルト・ナットに交換し、フランジ部分にスライドプレート式作業弁を取り付けます。

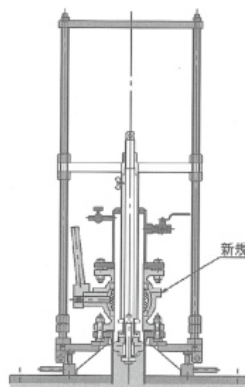


7. 新規補修弁取り付け



2. 空気弁の撤去

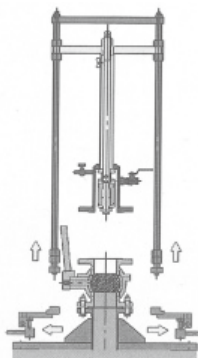
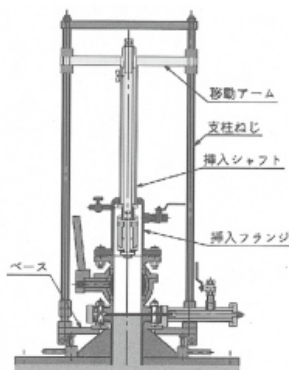
スライドプレート弁を全閉し止水後、空気弁を撤去します。



3. 挿入工具取り付け

補修弁に挿入機を取り付けます。

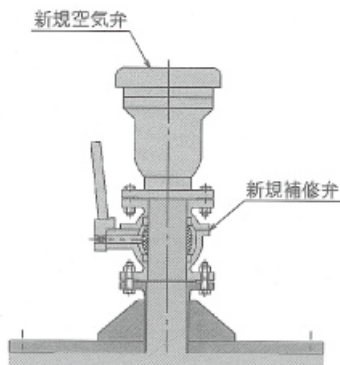
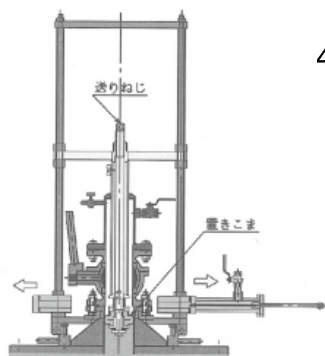
8. 挿入工具取り外し



4. 置きコマの挿入・止水

スライドプレート弁を全開後、置きコマを既設フランジ下部まで挿入し、拡張・止水します。スライドプレート弁を外します。

9. 空気弁を取り付け完了



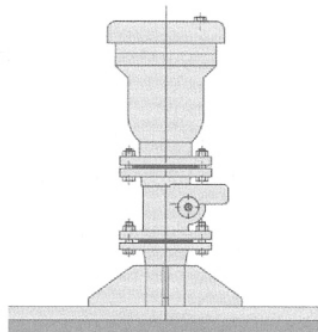
※価格につきましては、弊社迄お問い合わせください。

不断水補修弁交換工法 置きコマ式

■ 特長

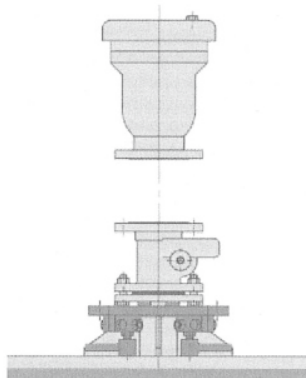
1. 不断水で補修弁を交換できます。
2. 施工スペースは小さく済み経済的です。

工事概略図



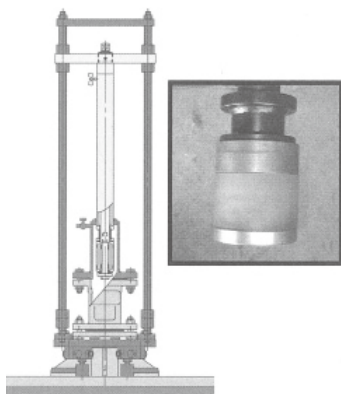
1. 止水確認

補修弁を閉止して止水を確認し、作業用ボルト・ナットに交換します



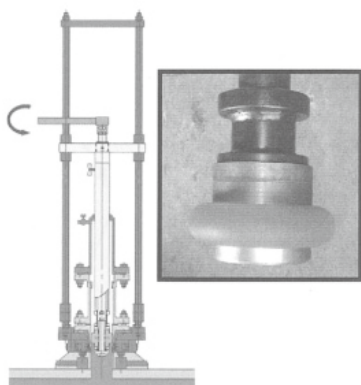
2. 空気弁の取外し

空気弁を取外し、ベースを仮固定します。



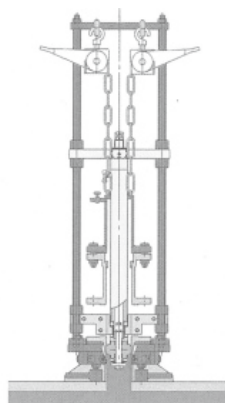
3. 挿入機の取付

補修弁に挿入機を取り付めます。



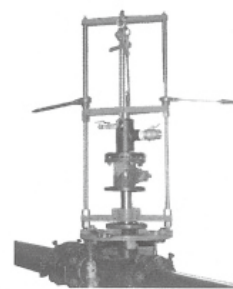
4. 置きコマの挿入・止水

補修弁を全開後、置きコマを既設フランジ下部まで挿入し、拡張・止水します。



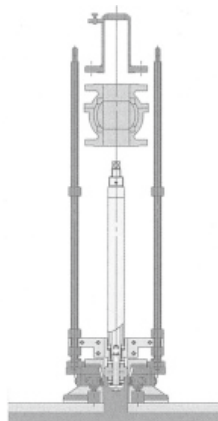
5. 抜止金具の取付

補修弁を持ち上げ、抜止め金具を取付ます。



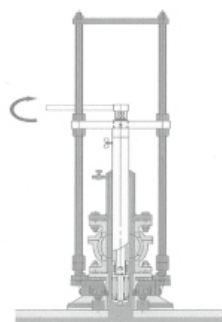
6. 新規補修弁のセット

上部を解体し、新規補修弁をセットします。



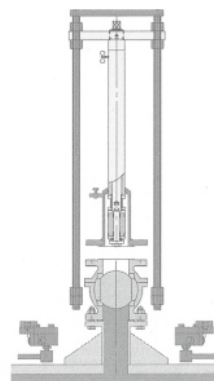
7. 新規補修弁取付

抜止金具を外し、補修弁を取付ます。置きコマを縮径させ、通水します。



8. 挿入工具取外し

補修弁を閉止し、挿入機を取外します。



9. 空気弁を取付完了

空気弁を取付け、施工完了です。

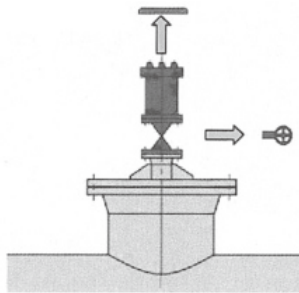
※価格につきましては、弊社迄お問い合わせください。

不断水補修弁交換工法 メカニカル式

■ 特長

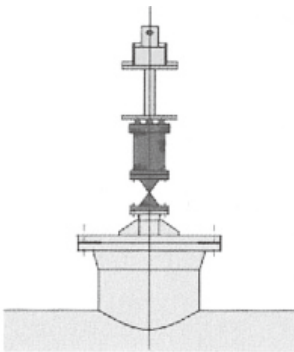
1. 止水不能な補修弁を不断水で交換できます。
2. 補修弁が存在しない場合でも交換できます。
3. 圧力が高い場合でも交換できます。

工事概略図 ※補修弁が止水不能の場合



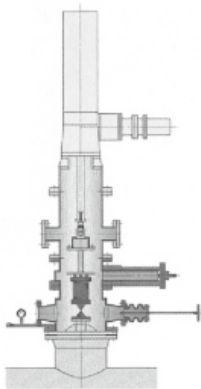
1. 前準備

空気弁のカバーと補修弁のハンドルを外します。補修弁下側のボルト・ナットを作業用ボルト・ナットに交換します。



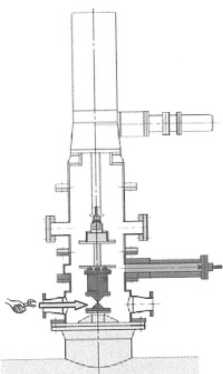
2. 接続金具の取付

空気弁の上部に接続金具を取り付けます。



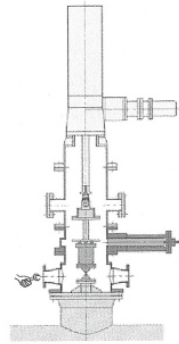
3. 挿入工具の取付・水圧試験

作業筒、作業弁、円筒、挿入機の順に取り付けます。水圧試験を行い、漏れがないことを確認します。



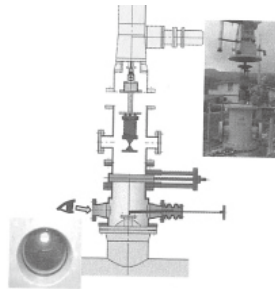
4. 補修弁のボルト取外

挿入機で上部から補修弁を押し付け窓から手を入れ、補修弁のボルトナットを外します。



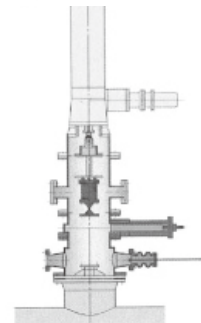
5. 空気弁・補修弁の持上

窓を閉め、挿入機で空気弁と補修弁を持ち上げます。作業弁を閉めます。



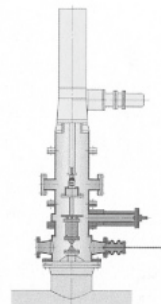
6. フランジ部の清掃

挿入機を外します。窓からフランジ面を覗き、パッキングが残っている場合はケレン棒で清掃します。



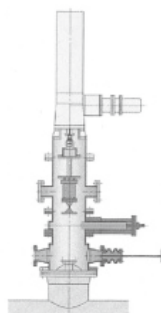
7. 新補修弁・空気弁のセット

挿入機に新しい補修弁と空気弁をセットし、作業筒に取り付けます。作業弁を開けます。



8. 補修弁取付

補修弁を降ろし、フランジ面を合わせ、押し付けます。



9. ボルトの締め付け

止水確認後、窓を開け、手を入れボルト・ナットを締め付けます。



10. 施工完了

作業工具を全て取り外します。作業用ボルト・ナットを規格品に交換します。空気弁のカバーと補修弁のハンドルを取り付け、施工完了です。

※価格につきましては、弊社迄お問い合わせください。